研究テーマ 海洋深層水による細胞診処理改善

所属 富山大学附属病院病理部

臨床検査技師長 田近洋介
https://researchmap.jp/tajika

研究分野	病理学、病理診断学、衛生管理、細胞診断学、臨床検査学
キーワード	海洋深層水、細胞診、細胞保存、標本品質

研究室URL：

研究の背景および目的

海洋深層水の特性に着目し、細胞診検体の処理における細胞保存性と標本品質の向上を図ることを目的とする。細胞変性の軽減や観察性改善を検証し、実用的な前処理技術の確立を目指す。



■主な研究内容

海洋深層水を活用し、細胞診検体の処理過程における細胞保存性および標本品質の向上を目指した研究を行っている。特に、検体処理時の細胞変性や背景不良の軽減に着目し、従来法との比較を通じて、細胞形態の保持、観察性の向上、診断支援への有用性を検討している。あわせて、保存条件、取扱方法、安全性、実用性を評価し、臨床検査の現場で導入可能な新たな前処理技術としての確立を目指している。

期待される効果・応用分野

本研究により、細胞診標本の品質向上、診断の安定化、再検率の低減、検体処理工程の効率化が期待される。加えて、細胞観察性の改善を通じて、日常診療における診断支援への波及効果も見込まれる。病院検査部門、病理・細胞診部門、検査センター、関連企業における応用可能性を有し、保存液・処理液開発、共同研究、技術移転への展開が期待される。

■共同研究・特許など

細胞診前処理技術の高度化に向け、医療機関・企業との共同研究を歓迎。保存液、処理液、標本作製技術への応用展開を視野に入れている。

富山大学研究者プロファイルPure URL：